令和８年 11 月 25 日

１学年　生徒、保護者の皆様

厚木北高等学校長

令和８年度　第１回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和８年７月に第１回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第１回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。

つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださるようお願いします。

１．集計対象の科目（一部略称あり）

教科名	科目名	教科名	科目名
国　語	現代の国語　言語文化	芸　術	音楽Ⅰ*3　書道Ⅰ*3
地歴公民	歴史総合*2	外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ*4　論理・表現Ⅰ
数　学	数学Ⅰ*4　数学 A*2*4	家　庭	
理　科	生物基礎*2　物理基礎*2　科学と人間生活*1	情　報	情報Ⅰ
保健体育	体育*1　体育*2　保健		
	ｽﾎﾟｰﾂ概論*1　ｽﾎﾟｰﾂ総合演習*1		

*1 スポーツ科学科のみの科目　*2 普通科のみの科目 *3 選択科目 *4 習熟度別授業を展開している科目

２．質問及び選択肢の一覧

分類		質問	略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6	予習、復習をしっかりしている。	予習・復習
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11	家庭学習を習慣化している。	家庭学習

否定的　1 ほとんどあてはまらない　2 あまりあてはまらない　3 ほぼあてはまる　4 かなりあてはまる　肯定的

問合せ先
副校長　勅使川原
電話　046-241-8001

３．各教科の回答割合（一覧）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		理解度	ねらい・ふりかえり	思考の機会	まとめ・解決の機会	意欲的態度	予習・復習	成長実感	思考の実践	まとめ・解決の実践	既習事項とのかかわり	家庭学習
国語	1	4%	2%	4%	3%	2%	8%	3%	3%	3%	3%	17%
	2	13%	18%	13%	15%	14%	38%	22%	21%	22%	22%	39%
	3	61%	61%	58%	65%	63%	44%	59%	59%	61%	60%	37%
	4	22%	19%	25%	17%	20%	10%	16%	17%	14%	14%	8%
	－	17%	21%	17%	18%	17%	46%	25%	24%	25%	26%	56%
	＋	83%	79%	83%	82%	83%	54%	75%	76%	75%	74%	44%
地歴公民	1	0%	0%	0%	0%	0%	5%	2%	0%	0%	0%	13%
	2	5%	6%	4%	6%	9%	33%	13%	10%	14%	13%	37%
	3	63%	63%	63%	67%	64%	45%	61%	63%	66%	67%	37%
	4	33%	32%	32%	28%	27%	16%	24%	27%	20%	20%	13%
	－	5%	6%	4%	6%	9%	39%	15%	10%	14%	13%	50%
	＋	95%	94%	96%	94%	91%	61%	85%	90%	86%	87%	50%
数学	1	0%	1%	0%	1%	1%	4%	1%	1%	1%	1%	9%
	2	9%	12%	12%	11%	11%	26%	9%	15%	17%	13%	30%
	3	60%	64%	65%	64%	60%	55%	66%	64%	64%	65%	49%
	4	31%	23%	22%	25%	28%	16%	24%	19%	18%	21%	12%
	－	9%	13%	12%	12%	12%	29%	10%	17%	17%	14%	39%
	＋	91%	87%	88%	88%	88%	71%	90%	83%	83%	86%	61%
理科	1	0%	0%	0%	0%	1%	6%	0%	0%	1%	0%	12%
	2	5%	9%	7%	10%	10%	31%	15%	14%	17%	15%	33%
	3	67%	68%	70%	69%	67%	51%	66%	69%	68%	66%	44%
	4	27%	23%	22%	21%	22%	12%	19%	17%	15%	18%	10%
	－	5%	9%	7%	10%	11%	37%	15%	14%	17%	16%	46%
	＋	95%	91%	93%	90%	89%	63%	85%	86%	83%	84%	54%
保健体育	1	0%	0%	1%	0%	1%	7%	1%	1%	1%	1%	16%
	2	4%	5%	8%	7%	9%	27%	8%	11%	9%	9%	33%
	3	62%	62%	61%	63%	60%	46%	62%	64%	66%	65%	35%
	4	34%	33%	31%	30%	30%	20%	30%	25%	24%	25%	16%
	－	5%	5%	9%	7%	10%	34%	8%	11%	10%	10%	49%
	＋	96%	95%	92%	93%	90%	66%	92%	89%	91%	90%	51%
芸術	1	2%	2%	2%	2%	2%	9%	2%	3%	2%	3%	18%
	2	3%	8%	10%	9%	10%	32%	9%	13%	12%	14%	34%
	3	65%	61%	60%	62%	58%	41%	65%	60%	62%	61%	33%
	4	29%	29%	27%	27%	30%	19%	24%	24%	23%	22%	15%
	－	6%	10%	12%	11%	12%	41%	11%	16%	14%	16%	53%
	＋	94%	90%	88%	89%	88%	59%	89%	84%	86%	84%	47%
外国語	1	1%	1%	1%	1%	1%	7%	2%	1%	1%	2%	15%
	2	10%	14%	10%	15%	12%	38%	17%	15%	19%	18%	36%
	3	63%	60%	59%	63%	62%	42%	62%	64%	63%	62%	37%
	4	26%	25%	31%	21%	25%	13%	20%	20%	17%	18%	11%
	－	11%	15%	11%	16%	13%	45%	18%	16%	21%	21%	52%
	＋	89%	85%	89%	84%	87%	55%	82%	84%	79%	79%	48%
家庭	1											
	2											
	3											
	4											
	－	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	＋	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
情報	1	0%	0%	0%	0%	0%	8%	1%	0%	0%	0%	15%
	2	3%	5%	5%	7%	5%	28%	6%	5%	8%	9%	34%
	3	70%	63%	64%	64%	66%	48%	70%	70%	68%	71%	39%
	4	27%	32%	31%	29%	29%	16%	23%	25%	23%	20%	12%
	－	3%	5%	5%	7%	6%	36%	8%	5%	9%	10%	49%
	＋	97%	95%	95%	93%	94%	64%	92%	95%	91%	90%	51%

4．各教科の集計分析及び授業改善案

教科	集計分析	授業改善
国語	授業内の工夫により「理解度」や「思考の機会」等、多くの肯定的回答が得られたが、「言語文化」は「現代の国語」に比べ肯定的回答がやや低い傾向がみられる。また、自己学習である「予習・復習」は「現代の国語」で58%、「言語文化」で51%、「家庭学習」はそれぞれ48%、42%と、肯定的回答の低さが目立つ。今後は家庭学習への動機づけ等、自学自習の習慣化を図ることが望まれる。	「予習・復習」は「現代の国語」で58%、「言語文化」で51%、「家庭学習」は48%、42%と肯定的回答の低さがみられる。原因として、「配信しているワークシートが家庭学習を兼ねている」という認識の不足がうかがえる。改善に向けて、ワークシートが家庭での予習復習用でもあることを授業内で改めて説明し、意識づけるとともに、毎時の振り返り等で進捗を確認し、授業と家庭学習の結びつけを行うことで、自学自習の習慣化を図っていく。
地歴公民	「授業のあり方」についての回答は肯定的解答が多かったが、「予習・復習」、「家庭学習」の項目に否定的回答が多かった。生徒の意欲を引き出す授業アプローチを行い、より多くの生徒を引き付ける授業実践を心がけるとともに、授業外での自発性を促していくためにも、必要に応じて課題を設定する等、家庭学習を習慣化するための意識づけをする必要がある。	学習内容を精選し、学習方法を分かりやすく示すことで、生徒が積極的に学習に臨めるような工夫を行っていく。そして、日頃の生活に関係のある題材設定や問いかけをおこなうことで、生徒が身近な様々な事象・事柄に疑問を持ち、探究できるよう促す。また、プリントやクロームブック等を利用した探究的な活動を取り入れることで、授業外の様々な事象に興味を持ち、進んで学習に取り組む姿勢を育成していく。
数学	数学Ⅰ・数学Aともに、「授業のあり方について」の「理解度」に対する肯定的回答が多く見られた。このことから、工夫された教材の作成や、習熟度別授業が適切に行われていたと考えられる。また、全体的に肯定的回答が多いため、授業に集中して取り組んでいる姿勢がみられる。しかし、「予習・復習」や「家庭学習」に関しては否定的回答が多く、学習課題の設定などを図っていく必要があると考えられる。	教科書の付属二次元コード等を活用し、授業内容の類似問題を宿題に出すことで学びを定着させつつ家庭学習の習慣化を図っていく。また、定期的に小テストを実施し学習習慣の定着を図る。そして、数学の中で生活に関係する題材を紹介する導入を行うことで生徒の数学に対する興味・関心を深め、自主的に学びに向かう態度を育てたい。
理科	どの科目も「授業のあり方について」は概ね肯定的回答を得ている。教材の工夫、授業のまとめ・解決の機会の確保などについても十分に効果的であると思われる。生徒も、授業内での基礎的な知識や技能の定着については、一定の成果を実感している。 一方、どの科目も学習状況に関して「予習・復習」や「家庭学習」は例年と同様に肯定的回答が低い。教科の特性として毎回の授業に対して予習を求めておらず、授業内での理解に重きを置いていることから、家庭学習の時間は少なくなっていると思われる。	授業内での基礎的な知識の定着を踏まえて、家庭でも取り組みやすい課題の設定を工夫する。また、学習内容により興味の湧くような課題を与え、発表やレポート、小テストなどを通じて学習習慣を定着させる。更に、普段の生活や他教科の学習と関連付けて授業を展開し、横断的に科学知識や様々な自然現象に関心を持てるような指導を工夫していきたい。また、そのように自然現象と科学と人との関わりへ関心を持つことが、理科における「予習・復習」であり「家庭学習」となることを周知したい。
保健体育	スポーツ科学科のスポーツⅠ、スポーツⅢ、スポーツ概論、スポーツ総合演習、普通科の体育に関しては、「理解度」や「ねらい・振り返り」、「意欲的態度」、「成長実感」に関する項目などで約90%肯定的回答であった一方で、予習・復習や家庭学習に関しては否定的回答が他の項目に比べて多い結果となった。 保健に関しては多くの項目で約80%以上の肯定的回答を得ることができた。その中でも「理解度」や「まとめ・解決」の機会の項目で約90%が肯定的回答であった。体育と同様に「予習・復習」、「家庭学習」の項目に関しては約半数が否定的回答と他の項目に比べて多い結果となった。	授業内で振り返りシートを活用し、「理解度」や「ねらい・振り返り」、「思考の機会」を増やすことを目指す。また、ICT教材を積極的に取り入れ、生徒が視覚的に学習できる場面を増やしたことが肯定的な回答を得ることにつながったと考えられる。 「予習・復習」、「家庭学習」の定着を図るためにも、特に保健では日常生活に結びついた気づきや思考を目的とした課題の提示を行うこと、保護者や身近な人とコミュニケーションをとることによって達成できる課題などを工夫して行っていきたい。

芸術	音楽Ⅰ・書道Ⅰともに、教材の工夫や授業の進め方、課題への取り組みについて肯定的回答が多く、生徒が授業に主体的に取り組むための環境を整えることができていると考えられる。一方、「予習・復習」や「家庭学習」に関する項目では、他の項目と比較して評価が伸びにくい傾向が見られた。また、学習した内容を整理したり、他の学びと関連付けたりすることについても、継続して充実を図る必要がある。	今後は、授業内で学習内容を振り返る時間を意識的に設定し、知識や技能の定着と学びの実感につなげていく。また、実技や表現活動だけで終わらせず、活動の目的や工夫した点を言語化する場面を取り入れることで、思考を深める機会を増やしたい。さらに、授業で扱った内容を家庭でも無理なく振り返り、授業内外の学びがつながるような学習活動を検討する。
外国語	「理解度」、「ねらい・ふりかえり」、「思考の機会」、「まとめ・解決の機会」、「意欲的態度」については、肯定的回答が８割を超えており、生徒が授業内容を理解しながら主体的に学習に取り組んでいることがうかがえる。また、「成長実感」や「思考の実践」についても肯定的回答が高く、授業を通して自分の成長を実感している生徒が多い。一方で、「予習・復習」と「家庭学習」の肯定的回答は半数程度にとどまり、家庭での学習習慣の定着に課題がみられる。	理解度や思考の機会に関する評価の高さを維持できるよう、引き続き生徒同士の対話や言語活動を取り入れた授業づくりを進めていく。また、課題である予習・復習、家庭学習の改善に向けて、授業後のねらい・ふりかえりを充実させるとともに、復習課題や小テストを計画的に実施する。さらに、学習内容と家庭学習を結び付けることで、成長実感を得ながら主体的に学習へ取り組む態度の育成を図っていきたい。
情報	「理解度」や「思考の機会」、「意欲的態度」など、多くの項目で高い肯定的回答が得られた。生徒は授業のねらいを理解し、主体的に考えながら学習に取り組めていることがうかがえる。一方で、「予習・復習」や「家庭学習」は比較的低く、授業での学びを家庭学習へつなげることが課題である。今後は、振り返りと連動した課題や ICT の活用を通して、家庭学習の習慣化を図りたい。	今後は、授業での高い理解度や主体的な学びを維持しながら、家庭学習の充実を重点課題として改善を進める。授業の振り返りと連動した課題の設定や、短時間で取り組める予習・復習課題を工夫することで、学習習慣の定着を図る。また、家庭学習の成果を授業内で共有する機会を設け、授業と家庭学習のつながりを意識させることで、生徒の主体的な学びをさらに促進していきたい。

※紙面の都合上、質問内容については**〈略称〉**を用いて表記しています。

分類		質問	略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	**理解度**
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	**ねらい・ふりかえり**
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	**思考の機会**
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	**まとめ・解決の機会**
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	**意欲的態度**
	6	予習、復習をしっかりしている。	**予習・復習**
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	**成長実感**
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	**思考の実践**
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	**まとめ・解決の実践**
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	**既習事項とのかかわり**
	11	家庭学習を習慣化している。	**家庭学習**